

令和7年度

社会人選抜学生募集要項

自然災害の発生や感染症の流行等による入学試験の実施について

自然災害の発生や感染症の流行等によって、入学試験の実施が懸念されるときは、本学のホームページで試験開始時刻の繰り下げや、試験の中止・延期、選抜方法の変更等の対応をお知らせしますので、定期的にホームページで確認してください。

受験情報サイト(URL) <https://juken.ehime-u.ac.jp>



愛媛大学

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）	1
1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 出願手続	5
（1）出願期間	5
（2）出願書類等	5
（3）入学志願票等記入上の注意	6
（4）検定料の返還	6
（5）出願方法	6
（6）受験票等の発送	6
4. 選抜方法等	7
5. 個別学力検査等の配点	8
6. 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示日時等	8
7. 合否判定基準	9
8. 試験日及び試験場	10
9. 注意事項	10
10. 合理的配慮を希望する入学志願者の出願	11
11. 合格者発表等	12
12. 不合格となった場合の取扱い	12
13. 入学手続及び初年度の諸経費	12
14. 試験場・試験場案内・交通機関案内	14
15. 入学試験個人成績の開示	18
16. 正解・解答例又は出題意図の開示	18
17. 個人情報の取扱い	18
18. 学生募集要項の請求方法等	18
○ 入学試験に関する照会先	19
○ 入試情報サービス	20

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

法文学部

法文学部では、人文・社会科学の知識を基盤とした幅広い教養と実践力を身につけた、汎用的能力の高いグローバル人材を育成することを目的とします。そのため、法文学部は次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・理解）

1. 高等学校等で学習する国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科、情報などについて、高等学校卒業相当の知識と技能を有している。

（思考・判断）

2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲、態度）

3. 人間及び人間の創り出した文化や現実の社会から提起される諸問題に興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求し、勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいと考えている。

（技能・表現）

4. 所与の問題について、自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。

医学部

愛媛大学医学部看護学科では、愛媛大学学生として期待される能力(愛大学生コンピテンシー)を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた看護学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、大学や学部を超えたグループによる課題探究型の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、社会人選抜や編入学などの様々な選抜方法を採用しています。そこで、看護学科ではカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）およびディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定める教育を受けるために最低限必要な、次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能）

1. 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

1-1) 長文の英文や和文の文章を理解し、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ自らの考えを日本語で適確に表現できる。

2. 高等学校等までの学修や生活体験を通して、人と人の暮らしに関する知識を獲得している。

（思考力・判断力・表現力）

3. 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。

4. 物事の中から問題を見出し、解決方法を探り、問題解決に向けて行動することができる。

5. 情報をもとに自分の考えを形成し、その考えを伝え合って多様な考えを理解し、考えを深めることができる。

6. 物事をさまざまな視点からとらえ、新しい意味や価値を生み出すことができる。

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

7. 人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。

8. 人や人の暮らし、看護に高い関心があり、将来、看護職として医療に貢献したい目的意識と情熱がある。

<選考方法の趣旨>

これまでに修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する思考力・判断力・表現力等の能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行います。

個別学力検査では、文章の内容や意味を正しく捉え、内容を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力を持った学生を選抜するために和文と英文による小論文試験（解答は和文による）を課しています。

個人面接では、出願書類（調査書）を含めて評価します。また、アドミッション・ポリシーに基づき、高等学校等や学校外での様々な活動について質問し、看護の専門職を目指すという強い目的意識や情熱をもち、緊張した状況下でも落ち着いて他者に自分の考えを自らの言葉で伝えることや他者の話を聴くコミュニケーション能力を有していることを確認します。さらに、学習意欲が旺盛であるとともに、社会人としての経験を活かし、他の学生の模範となれる者であることも重要と考えます。また、入学後の学習を踏まえ、人との関わりが好きで、人に対する尊厳や謙虚さを忘れず、そばにいてだけで安心や温かみを与えられる資質の持ち主であることを確認します。

農学部

農学部は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、主体性と多様な能力をもった学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、農学部は次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能・理解）

入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

（思考・判断）

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲）

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

（表現）

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

（主体性・協働性）

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

食料生産学科

食料生産学科は、栽培、管理から収穫、加工、流通、販売、経営までの一連のプロセスを俯瞰できる広い視野をもち、農業の6次産業化、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給の実現に意欲的に取り組むことができる学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、食料生産学科は次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能・理解）

入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

（思考・判断）

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲）

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

（表現）

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

（主体性・協働性）

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

生命機能学科

生命機能学科は、生命化学分野に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、生命機能の解明と生物資源の有効活用に意欲的に取り組むことができる学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、生命機能学科は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

生物環境学科

生物環境学科は、山から海に至る広範囲の環境に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、地域規模から世界規模の範囲で活躍する意欲のある学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、生物環境学科は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

1. 募集人員

学 部	学 科 等	募 集 人 員
法 文 学 部	人 文 社 会 学 科 「夜 間 主 コー ス」	10 人
医 学 部	看 護 学 科	3 人
農 学 部	食 料 生 産 学 科	若 干 人
	生 命 機 能 学 科	若 干 人
	生 物 環 境 学 科	若 干 人

保健師国家試験受験資格について

医学部看護学科では、保健師教育課程に「選択制」を導入しています。

保健師資格の取得を希望する学生のうち、2年次前学期終了後に選考を受けて（35人程度を選抜）、所定の単位を修得した者が、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

2. 出願資格

(1) 法文学部人文社会学科「夜間主コース」

次の1)から3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者で、かつ、令和7年4月1日現在23歳以上で5年以上の社会人経験を有するもの

- 1) 高等学校を卒業した者（中等教育学校を含む。以下同じ。）又は令和7年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- 3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

①合格した場合は入学を確約できる者

②本学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、本学部への志望動機が明確な者
(注) 定時制、夜間、通信制以外の学校（大学を含む。）の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。

(2) 医学部看護学科

令和7年4月1日現在、年齢が満21歳以上であり、3年以上社会人としての経験を有する者で、入学後看護学を修める意志があり、卒業後看護・保健分野で就業する意志のあるものとし、次のいずれかに該当するもの

- 1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- 3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 定時制、夜間、通信制以外の学校（大学を含む。）の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。

(3) 農学部食料生産学科、生命機能学科、生物環境学科

令和7年4月1日現在、年齢が満23歳以上であり、5年以上社会人としての経験を有する者で、本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確であり、次のいずれかに該当するもの

- 1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- 3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 定時制、夜間、通信制以外の学校（大学を含む。）の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。

※ 学校教育法施行規則第 150 条第 7 号で出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和 6 年 10 月 1 日（火）までに必要書類を添えて申請してください。（入学資格審査の詳細については、本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/>）で公表しています。）

なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町 3 番 愛媛大学教育学生支援部入試課 平日 9 時～17 時：電話 089-927-9172

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和 6 年 11 月 1 日(金)～11 月 7 日(木)〔11 月 7 日(木)の消印有効〕

出願書類等の受付は郵送のみとし、期間内に配達されたもの及び 11 月 8 日(金)以降に配達されたもののうち、11 月 7 日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

直接持参しても受理しないので注意してください。

(2) 出願書類等

書 類 等	摘 要
入 学 志 願 票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
写 真	上半身、無帽、正面向きで 3 か月以内に撮影したものを写真票及び受験票の写真欄に貼ってください。（縦 4 cm×横 3 cm、白黒又はカラー）
調 査 書	<p>1) 文部科学省所定の様式（過年度卒業生については、従前の様式（以下「旧調査書」という。）も可。）により、出身学校長が作成し、<u>厳封したものを提出してください。</u></p> <p>なお、出身学校等において指導要録が保存年限を超えた場合又はその他の事情により調査書が得られない場合には、以下のとおり取り扱います。</p> <p>(1) 「卒業証明書」及び「成績証明書又は単位修得証明書」を提出してください。</p> <p>(2) 上記のうち、「成績証明書又は単位修得証明書」が提出できない場合は、「卒業証明書」及び高等学校が作成した「成績証明書又は単位修得証明書が発行できない旨の理由書」を提出してください。</p> <p>2) 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む。）は、当該試験の合格成績証明書をもってこれに代えることができます。</p>
入 学 資 格 認 定 書 （ 該 当 者 の み ）	本学において個別の入学資格審査により入学資格を認定された者は、調査書に代えて、本学発行の入学資格認定書の写しを提出してください。
志 願 理 由 書 （ 法 文 学 部 志 願 者 の み ）	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
職 歴 等 証 明 書	<p>本学所定の用紙により、過去の職歴、その他社会人としての経験（法文学部及び農学部 5 年以上、医学部 3 年以上）を有することを証明するもの</p> <p>なお、主婦及び退職者等についても、同用紙により、友人又は家族等で年齢 20 歳以上の者の証明を受けてください。</p>
検 定 料 書 払 込 証 明 書	<p>検定料 17,000 円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行（他の金融機関からの振り込みはできません。）の窓口から払込後（ATM は使用しないでください。）、日附印を押した「振替払込受付証明書（大学提出用）」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。</p> <p>ただし、法文学部の「夜間主コース」は、10,000 円です。</p> <p>なお、払込済の検定料は次頁の「(4) 検定料の返還」の返還請求できる場合を除き、返還しません。</p>
返 信 用 封 筒	本学所定の封筒に志願者のあて先を明記（必ず郵便番号を記入すること。）し、410 円分の切手を貼ったもの
志 願 者 名 票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの

*検定料免除の特例措置について

自然災害により被災した進学希望者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、以下に該当する場合は、検定料免除の特例措置を行います。

自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者又は志願者が災害救助法の適用を受けた地域に所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合
 - (2) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で、当該災害により死亡又は行方不明となった場合
- ※免除の対象となる入学試験：災害救助法適用日以降で、当該災害救助法適用日の属する年度内に実施される入学試験

詳細は本学ホームページ (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/natural-disasters-exemption/>) をご覧ください。

(3) 入学志願票等記入上の注意

- 1) 入学志願票等提出後の、志望学科等の変更は認められませんので、入学志願票等の記入については該当事項をよく読んで誤りのないよう正確に記入してください。
- 2) 入学志願票等は、必ず黒のボールペンで丁寧に記入してください。
- 3) 記入間違いの場合は、間違えた箇所には二重線を引き、その上に正しく記入してください。
- 4) ※欄は、記入しないでください。
- 5) 入学志願票は折らないでください。
- 6) 入学志願票、写真票、受験票は切り離さずに提出してください。

(4) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先	〒790-8577 松山市道後樋又 10 番 13 号 愛媛大学財務部財務企画課出納チーム 電話番号 089-927-9074、9077 E-mail suitou@stu.ehime-u.ac.jp
-----	--

(5) 出願方法

出願書類等を取りそろえて、必ず本学所定の封筒を使用し、「速達・簡易書留郵便」で出願する学部の入試係（19 ページ「入学試験に関する照会先」参照）に郵送してください。

(6) 受験票等の発送

受験票等は令和 6 年 11 月 12 日(火)頃発送します。

なお、受験票等が令和 6 年 11 月 17 日(日)までに未着の場合は、出願した学部の入試係（19 ページ「入学試験に関する照会先」参照）へ連絡してください。

4 . 選抜方法等

(1) 法文学部人文社会学科「夜間主コース」

小論文（100 分）、面接（口頭試問を含む。）の結果及び提出された書類等の内容により、本学部のアドミッション・ポリシーにうたわれた志願者の能力・適性・関心・意欲等を多面的、総合的に評価します。

(2) 医学部看護学科

小論文（120 分）及び面接の結果により、合否判定基準に基づき判定します。

小論文は和文・英文で出題します。

出願書類は面接に含めて評価します。

(3) 農学部食料生産学科、生命機能学科、生物環境学科

総合問題（120 分）、面接（口頭試問を含む。）の結果及び提出された書類等の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

5. 個別学力検査等の配点

学部等		教科等	小論文	総合問題	面接	計
法文学部人文社会学科「夜間主コース」			300		300	600
医学部看護学科			200		100	300
農学部	食料生産学科			100	100	200
	生命機能学科			100	100	200
	生物環境学科			100	100	200

6. 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示日時等

学部	学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
法文学部	人文社会学科「夜間主コース」	小論文	<p>以下の諸点を評価の目安とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 題意を十分把握していること。 2. 具体的な考察がなされていること。 3. 論理的な考察がなされ、論理の逸脱、飛躍がないこと。 4. 構想力が優れていること。 5. 表現力が優れていること。 6. 発想がユニークであること。 7. 誤字・脱字のないこと。 	<p>令和6年12月6日(金) 10時 法文学部本館掲示場</p>
		面接 (口頭試問を含む。)	<p>志願理由書・調査書（「指導上参考となる諸事項」の記載内容を含む。）及びその他の判断材料を活用し、アドミッション・ポリシーにうたわれた能力・適性・関心・意欲等を多面的、総合的に評価する。</p>	
		調査書 志願理由書	<p>アドミッション・ポリシーにうたわれた能力・適性・関心・意欲等を評価する材料として活用し、その結果を評価点に含める。なお、調査書の「指導上参考となる諸事項」の記載内容などの説明に欠かせないと思われる資料や証明書等があれば、提出すること。必要に応じて、それを面接で活用する。ただし、資料はわかりやすい表現で、A4用紙片面2枚以内にまとめたものとし、必ず調査書の封筒に同封すること。それ以外の資料を試験当日に試験室に持参することは認めていないので、留意すること。</p>	
		職歴等証明書	面接採点上の資料とする。	

学部	学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
医学部	看護学科	小論文	和文は文章の理解力と、文章の内容をもとにして自分の考えをまとめ表現する能力などを総合的に採点・評価する。 英文は英語の読解力、考察力、自分の考えを論述する能力などを総合的に採点・評価する。	令和6年12月6日(金) 10時 医学部看護学科掲示場
		面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、看護学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	
		調査書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
		職歴等証明書	資格確認のため。	
農学部	食料生産学科 生命機能学科 生物環境学科	総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和6年12月6日(金) 10時 農学部掲示板
		面接 (口頭試問を含む。)	食料生産、生命機能又は生物環境に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自己表現力、関連分野の基礎的な知識について評価する。	
		調査書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
		職歴等証明書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	

7. 合否判定基準

[○印が当該事項に該当することを示す。]

事項	合 否 判 定 基 準		
	学部	総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。
法文学部	○		同点者は、同順位とする。
医学部		面接の評価あるいは小論文の得点が著しく低い場合	① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合は、調査書の「全体の学習成績の状況」(旧調査書の場合は「全体の評定平均値)」が高い順とする。 ただし、調査書が発行されないことにより、②で順位が付けられない場合(総合点及び面接の得点が同点)は、同順位とする。
農学部	○		同点者は、同順位とする。

8. 試験日及び試験場

学 部	試 験 日 時	試 験 場	所 在 地
法文学部	令和6年11月24日(日) 9時から	城北キャンパス	〒790-8577 松山市文京町3番
医学部	令和6年11月23日(土) 9時から	重信キャンパス	〒791-0295 東温市志津川
農学部	令和6年11月23日(土) 9時から	樽味キャンパス	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号

9. 注意事項

- (1) 法文学部による選抜では、法文学部で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査します。このため合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (2) 医学部看護学科による選抜では、医学部で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査します。このため、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (3) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても、出願書類の記載内容の変更は認めません。ただし、住所等の個人情報の誤りや変更がある場合は、出願学部の入試係（19 ページ「入学試験に関する照会先」参照）へ連絡してください。また、出願書類は返還しません。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (5) 試験当日は、「愛媛大学受験票」を必ず持参してください。「愛媛大学受験票」は、入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、紛失したり、汚損したりすることのないように大切に保管しておいてください。
- (6) 試験日前日の10時に、志願学部試験場の掲示場に、試験時間割、試験室等について掲示します。あらかじめ必要事項を確かめておいてください。なお、試験室の下見は認められません。
- (7) 試験当日は、試験開始30分前には試験場に到着し、指定された試験室に入室してください。
- (8) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。
- (9) 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票のほか、黒鉛筆（シャープペンシルも可。ただし、シャープペンシルの芯ケースは、かばんに入れておくこと。）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ等を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のもの等を除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）です。これら以外の所持品を置いてはいけません。これら以外のものは、かばんにしまい各自の机の横又は椅子の下に置いてください。
※定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具は使用できません。
- (10) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。これらの電子機器類をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っているとな不正行為となる場合があります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラーム等の設定を解除し電源を切っておいてください。これらを時計として使用することができません。
- (11) 試験室内では、漢字、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。
- (12) 座布団及びひざ掛け（コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む。）で漢字、英文字や地図等がプリントされていないものは使用を認めます。健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。
- (13) 試験時間中に監督者が、出願時に提出した顔写真との照合を行います。マスクや眼鏡、帽子等につ

- いて一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。
- (14) 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ、退室させます。その場合は、以後の受験はできなくなるとともに、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- (15) 解答用紙には受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
- (16) 試験場の掲示場には、連絡事項を掲示することがありますので、休憩時間中は掲示に注意してください。
- (17) 試験日の前日及び当日の自動車、バイクでの試験場構内への乗り入れを禁止します。
- (18) できる限り公共交通機関を利用してください。自家用車等による送迎及び大学周辺での無断駐車はご遠慮ください。
- (19) 不明なことなどがあれば、志願学部の入試係（19 ページ「入学試験に関する照会先」参照）に申し出て指示を受けてください。

10. 合理的配慮を希望する入学志願者の出願

本学では、病気・負傷や障がい等がある者が、受験上及び修学上不利になることがないように合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を随時受け付けています。

受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に志願学部の入試係まで相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上の合理的配慮の申請について

受験上の合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

なお、出願後、事故等により受験上の合理的配慮が必要になった場合、又は出願の期限までに提出が困難な場合は、早急に志願学部の入試係までご連絡ください。

また、通常と異なる解答方法を希望される場合には、対応に時間を要するため、出願前のできるだけ早い時期に申請するようお願いします。

書類等	障害者手帳 所持者	障害者手帳 不所持者
受験上の合理的配慮希望申請書 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/)	○	○
障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）の写し	○	×
受験上で必要な合理的配慮内容が記載された医師の診断書もしくは意見書の写し	○	○

(注)日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等についても、受験上の合理的配慮の申請が必要となります。なお、座布団、ひぎ掛け、タオル（サイズは問わない。）、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）、ハンカチ、目薬については、受験上の合理的配慮の申請は不要です。

(2) 受験上の合理的配慮の決定通知

提出された書類により、受験上の合理的配慮を決定し、決定された合理的配慮の内容は、申請者に郵送で通知します。

なお、決定の際に不明な点がある場合には、別途確認の連絡を行うことがあります。

(3) 連絡及び提出先

志願学部の入試係（19 ページ「入学試験に関する照会先」参照）

11. 合格者発表等

(1) 合格者発表の日時

令和6年12月6日（金） 10時

(2) 合格者発表の方法

1) 合格者には、合格者発表日に、合格通知書、入学手続関係書類をレターパックプラス（配達は手渡しで、受取時に印鑑が必要。）で郵送します。合格者の発表は、送付された合格通知書が正式なものとなりますので、必ず「合格通知書」で確認してください。

2) 次のWebサイト（運営：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は参考として閲覧の上、必ず合格通知書により確認してください。

Webサイトに受験番号が掲載されているにもかかわらず、合格者発表日から3日経っても届かない場合は、受験した学部の入試係（19 ページ「入学試験に関する照会先」参照）にお問い合わせください。

Web サイト（携帯電話・パソコン共通）	
https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日（金）10時（予定）～令和6年12月19日（木）17時

(注) Web サイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。電話等による合否結果の照会には一切応じられません。

12. 不合格となった場合の取扱い

社会人選抜で不合格となった場合に、本学の一般選抜を受験しようとする者は、令和7年度大学入学共通テストを受験し、本学が別途作成している「一般選抜学生募集要項」（令和6年11月上旬本学ホームページにて公表予定）により、出願期間内に書類を提出してください。（一般選抜の出願は、インターネット出願のみとなっております。）

13. 入学手続及び初年度の諸経費

(1) 入学手続

合格者は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。

入学手続は、一部をインターネットにより行います。

なお、詳細については、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類で確認してください。

① 入学手続期間

令和6年12月6日（金）～12月18日（水）17時必着（郵送）

② 必要書類等

書 類 等	摘 要
保 証 書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
愛媛大学関連団体への 情報提供に関する同意書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
令和7年度愛媛大学受験票	本学発行のもの（入学手続完了後に返還します。）
入 学 資 格 証 明 書	卒業証明書又はこれに代わる証明書（卒業証書不可） 在学中の者は、卒業後に提出してください。
住 民 票 の 写 し (日本国籍を有しない者のみ)	市区町村長が発行したもの (日本国籍を有しない者のみ提出してください。)
入 学 料 及 び 授 業 料	次項「(2) 初年度の諸経費」を参照

③ 注意事項

合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

(2) 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。

学 部 等	入 学 料	授 業 料	その他の経費	合計金額
法 文 学 部 「夜間主コース」	141,000 円	年 額 267,900 円 〔前期分 133,950 円〕 〔後期分 133,950 円〕	62,760 円	471,660 円
医 学 部	282,000 円	年 額 535,800 円 〔前期分 267,900 円〕 〔後期分 267,900 円〕	86,370 円	904,170 円
農 学 部		70,660 円	888,460 円	

注1 入学料及び授業料の額は、令和6年度納付額であり、令和7年度は改定になる場合があります。

注2 その他の経費は、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費及び校友会費等の合計金額です。（金額については変更される場合があります。）

(3) 納付金の納入

① 入 学 料 282,000 円（法文学部「夜間主コース」は、141,000 円）

納入期間 入学手続期間

② 授 業 料 前期分 267,900 円〔年額 535,800 円〕

（法文学部「夜間主コース」は、前期分 133,950 円〔年額 267,900 円〕）

注1 納入期間等については、合格通知の際にお知らせします。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

注3 法文学部では、長期履修学生制度（職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度）を導入しています。授業料納入の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(4) 入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

14 . 試験場・試験場案内・交通機関案内

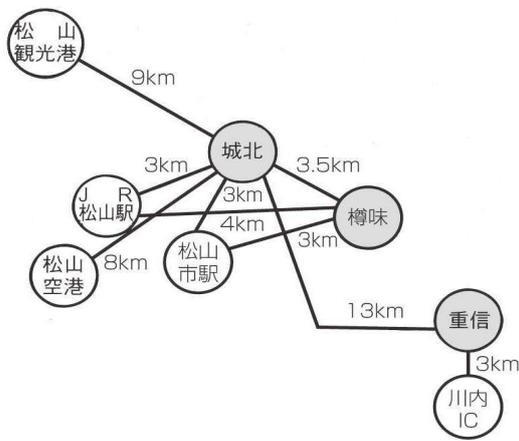
試験場

	図標示	試験場	所在地
法文学部	①	城北キャンパス	松山市文京町3番
医学部	②	重信キャンパス	東温市志津川
農学部	③	樽味キャンパス	松山市樽味3丁目5番7号

試験場案内

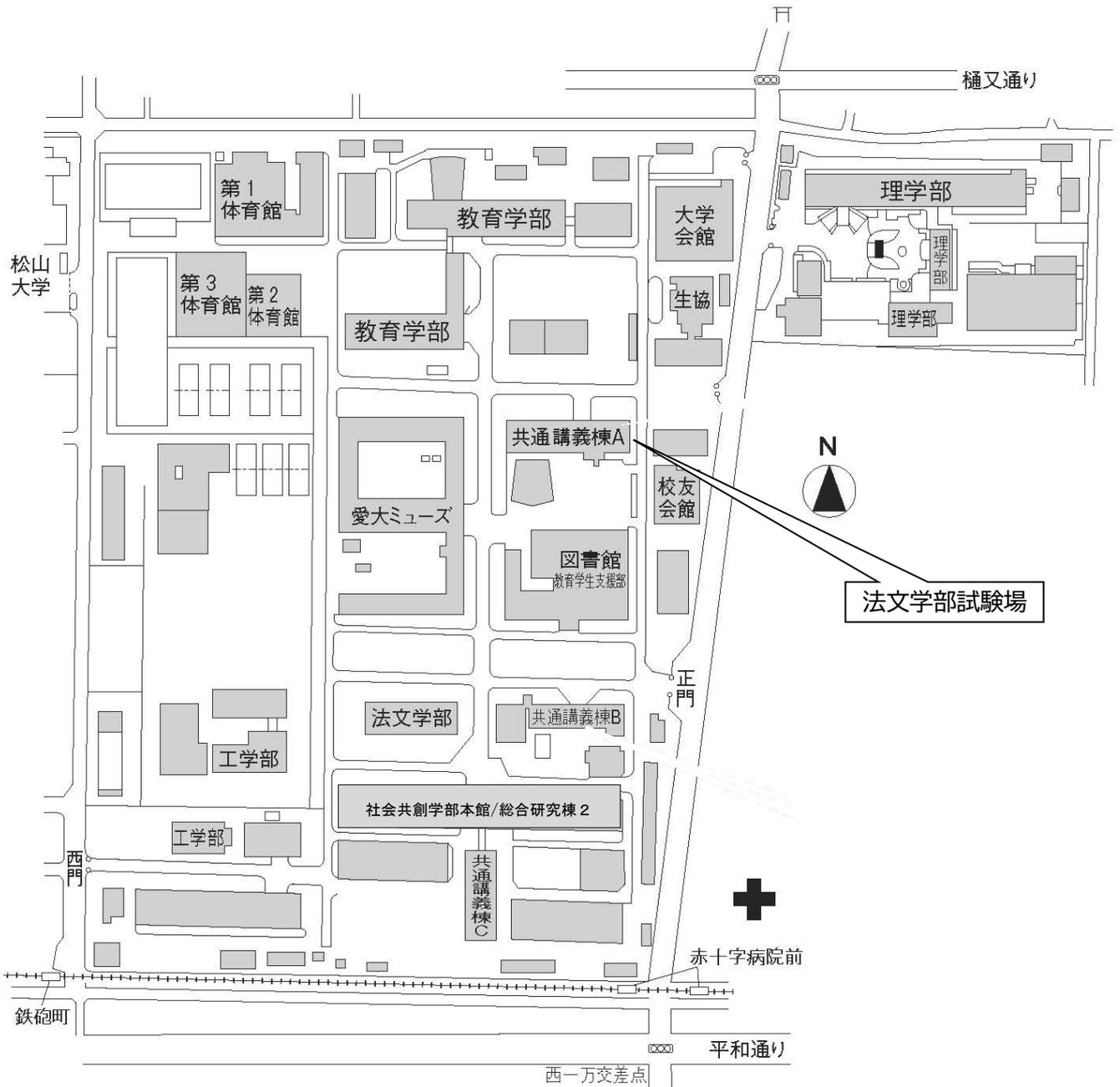


距離



1 法文学部

城北キャンパス



[アクセス]

● JR松山駅から

伊予鉄道市内電車 ①番環状線 JR松山駅前から古町回り松山市駅行き 乗車約18分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

● 松山市駅から

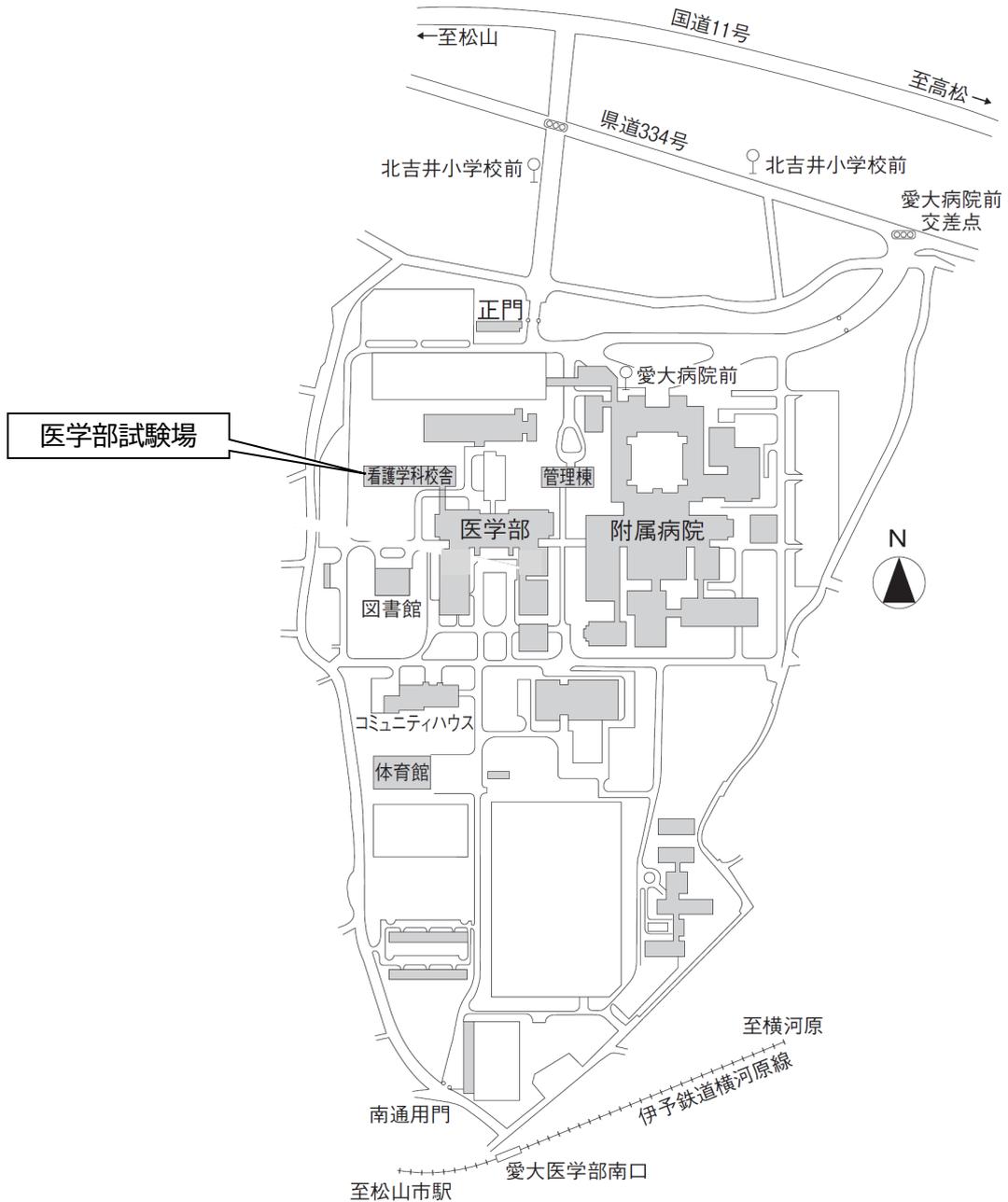
伊予鉄道市内電車

②番環状線 松山市駅から大街道回り 乗車約16分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

①番環状線 松山市駅からJR松山駅前回り 乗車約28分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

2 医学部

重信キャンパス



[アクセス]

● JR松山駅から

伊予鉄道郊外電車 大手町（JR松山駅から東へ徒歩5分）から横河原行き 乗車約32分
愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分

● 松山市駅から

伊予鉄道郊外電車 松山市駅から横河原行き 乗車約28分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分
伊予鉄郊外バス 松山市駅から川内方面行き 乗車約35分 愛大病院前下車 徒歩すぐ

● 松山観光港から

伊予鉄バス 高浜駅前行き 乗車約2分 高浜駅前乗り換え
伊予鉄道郊外電車 高浜から横河原行き 乗車約60分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分

3 農学部

樽味キャンパス



[アクセス]

● JR松山駅から

伊予鉄バス 8番線 (東野経由) JR松山駅から道後温泉駅前行き 乗車約24分 愛大農学部前下車

● 松山市駅から

伊予鉄バス 8番線 (東野経由) 松山市駅から道後温泉駅前行き 乗車約15分 愛大農学部前下車

15 . 入学試験個人成績の開示

本学では、社会人選抜の個人成績を受験者本人に限って開示します。令和7年度入学試験の個人成績の開示は、次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

ただし、面接については、A（期待される水準を上回っている）、B（期待される水準に達している）、C（期待される水準を下回っている）による段階評価を開示します。

請 求 者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：令和7年5月1日(木)～令和7年5月31日(土)

郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるもの限り受け付けます。

請求方法：開示請求書により、令和7年度愛媛大学受験票と、460円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して、受験した学部の入試係（19ページ「入学試験に関する照会先」参照）へ請求してください。

開示請求書は、本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/results-release/>）からダウンロードできます。

※開示請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、開示請求書に記載されている連絡先に電話連絡をしますので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：令和7年6月中旬頃、受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

16 . 正解・解答例又は出題意図の開示

本学では、令和7年度社会人選抜の正解・解答例又は出題意図の開示を次のとおり行います。

掲示による場合

場所：各学部掲示場

掲示期間：令和6年12月6日(金)10時から2週間

郵送による場合

110円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封し、「〇〇学部（受験した学部）の社会人選抜の正解・解答例又は出題意図の開示請求」と朱書きの上、受験した学部の入試係（19ページ「入学試験に関する照会先」参照）へ請求してください。

受付期間：原則として令和6年12月6日(金)から令和7年1月3日(金)までの消印有効

17 . 個人情報の取扱い

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

18 . 学生募集要項の請求方法等

学生募集要項（出願書類を含む。）の請求方法は、愛媛大学ホームページで確認してください。

（URL）<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/>

○ 入学試験に関する照会先

入試に関する電話による照会（お問い合わせ）は、月曜日から金曜日まで（祝日、年末年始を除く。）の9時から17時までの間とし、原則として志願者本人が行ってください。

学 部	連 絡 先
法 文 学 部	愛媛大学法文学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番 電話番号 089-927-9221 E-mail llgakumu@stu.ehime-u.ac.jp
医 学 部	愛媛大学医学部入試係 〒791-0295 東温市志津川 電話番号 089-960-5869 E-mail mkyoumu@stu.ehime-u.ac.jp
農 学 部	愛媛大学農学部入試係 〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 電話番号 089-946-9648 E-mail agrgakum@stu.ehime-u.ac.jp
入 試 課	愛媛大学教育学生支援部入試課 〒790-8577 松山市文京町3番 電話番号 089-927-9173 E-mail nyushijm@stu.ehime-u.ac.jp

○ 入試情報サービス

■愛媛大学受験情報サイト (https://juken.ehime-u.ac.jp)	
入試日程、学生募集要項、オープンキャンパス、進学相談会など受験にかかわる情報に加え、学びと研究、大学生活、卒業後の進路など、本学の情報を幅広く提供しています。	
■入学試験実施統計 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/entrance-exam-statistics/)	
過去7年分の入学試験実施統計（選抜別の実施状況や当初合格者の成績、都道府県別入学者数など）を掲載しています。	
■インターネット出願 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/)	
一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜への出願は、出願期間内に、インターネット出願サイトから行います。出願前に、動画「インターネット出願の使い方」の視聴や学生募集要項に記載されるインターネット出願の操作方法を確認することをお勧めします。	
■がんばれ国公立大学受験生！！ (https://daigakujc.jp/ehime-u/)	
イベント・トピックス、入試情報、大学の特長・沿革、学部・学科情報、大学生活、キャリア・就職支援等の情報を提供しています。 （運営：大学情報センター）	

■学生募集要項等の提供時期

大学ガイドブック（大学案内）・学生募集要項等は、受験情報サイトから閲覧・ダウンロードができます。大学ガイドブック（大学案内）等を資料請求される場合は、受験情報サイトの「資料請求」(<https://ehime-u.ac.jp/entrance/document-request/>)からお手続きをしてください。

大学ガイドブック（大学案内）・学生募集要項等	提供開始予定時期
大学ガイドブック（大学案内） 学部ガイドブック（学部案内） 法文学部案内、教育学部案内、社会共創学部案内、理学部案内、 医学部看護学科案内、工学部案内、農学部案内	提供中
入学者選抜要項 ^(注1)	提供中
学生募集要項 総合型選抜Ⅰ ^(注2)	提供中
学生募集要項 私費外国人留学生選抜、 渡日前入学許可制度による私費外国人留学生選抜、 社会人選抜	提供中
学生募集要項 総合型選抜Ⅱ ^(注2) 、学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ ^(注2)	2024年9月中旬～
学生募集要項 一般選抜 ^(注2)	令和6年11月上旬～

(注1) 印刷物（冊子）での配布は行っていません。

(注2) インターネット出願のみ。印刷物（冊子）での配布は行っていません。